

「日本のサービス産業の成長戦略ーサービス産業を豊かな成長の源泉にー」

サービス産業研究会 政策提言

2024年11月12日
一般財団法人 国際経済交流財団

	サービス産業全体	IT関連サービス	観光	エンターテインメント
現状	- 付加価値・就業者シェアともに上昇。重要分野！ (GDPシェア: 52% 1970年 → 73% 2020年) - 低生産性（米国の5割 2017年）と収支赤字に悩む	- ハードウェアからソフトウェアが主流。更にクラウドサービスが主体（従来型ソフトウェア開発の効率性低下） - 低い人材流動性でIT企業の低生産性（従業員一人当たり売上高：米国3,000万円、日本1,900万円／AI導入比率：米国72%、日本50%）	コロナ禍からのインバウンドの順調な回復、インバウンド消費の増大。2024年は過去最高の3,310万人に到達する見込み。フランスは1億人。日本の政府目標は6,000万人。（2030年）	- コンテンツ、オンライン市場拡大（世界市場シェア：米国43%、中国19%、日本7%、韓国3%） - 海外市場拡大 - 関連産業の成長
課題	- 品質を反映しない低価格 - 低労働生産性 - 国内の投資機会低迷 - サービス収支赤字の改善	- 組織改革を伴わない低位安定の多重下請け構造定着 - デジタル貿易赤字拡大	- 高付加価値化 - 地方経済活性化 - 宿泊施設等の低生産性解消 - 人材育成 - オーバーツーリズムへの対応	- 海外展開 - デジタル化 - 他分野との融合 - 人材育成
対策	攻めの対策 a) イノベーション促進 b) デジタライゼーション c) 人的資本投資 環境整備対策 a) 規制改革 b) 退出円滑化 c) 人口集積維持 d) 雇用流動性の確保 e) デジタルインフラの整備	a) イノベーション - 非競争領域での標準化、部品化、競争領域での内製化による生産性向上 - AI革命の流れの活用 b) デジタライゼーション - AI活用、ICT投資を伴いつつクラウド化推進 - GAFAに代わるAIスタートアップの育成 c) 人的資本投資 - エンジニアの能力向上のための研修 - AIが組織の中に入りやすくなるように質の高いエンジニアの人材流動化	a) イノベーション 「高付加価値観光」の創造 - 多様なプレイヤーを纏めるDMC（観光戦略立案企業）の育成 b) デジタライゼーション - データとAIでサービス効率化及び観光都市をデザイン c) 人的資本投資 - 英語力等のコミュニケーション能力の向上 - 専門的ガイド等、海外富裕層のニーズを満たす高度人材の育成 d) 特有の課題への対応 - 高付加価値化にともなうサービス価格の引き上げ - ダイナミック・プライシングの導入による需要の平準化 - インフラ整備等によるオーバーツーリズムへの対応	a) イノベーション - 観光とアニメの融合（例サウジアラビアのドラゴンボールテーマパークの建設） - 海外展開促進 b) デジタライゼーション - 海賊版対策 - 通信・放送の融合 - eスポーツ等の新領域開拓 - AIリテラシー育成 - 音楽著作権処理ルールの整備 c) 人的資本投資 - 情報経営イノベーション専門職大学の展開 - 海外展開を図れるプロデューサーとマーケティング戦略の専門家の育成

医療・介護サービス

	医療インバウンド	介護ロボット	医療機器	医薬品
現状	効用は大だが、惨憺たる現状（星50万人、韓国50万人、馬120万人、日本2～3万人）	元気高齢者の減少と介護費用の急増 （介護費用：2000年 3.6兆円 → 2025年 16.4兆円）	治療機器の低自給率が深刻 （診断機器では内視鏡の世界市場シェアが99%など一定の競争力はあるが、治療機器のシェアはほぼ0%）	新薬の臨床開発停滞。且つ、欧米で承認、日本で未承認の新薬が増加（国内未承認薬の割合が72%）
課題	「自由診療＝金持ち優遇」という心理的束縛からの脱却 星は人口600万人弱だが、周りに数億人の富裕層ありとの想定	介護ロボットのコスト削減と高齢者の個別のニーズに合わせた技術のカスタマイズ （即ち、開発インセンティブの喪失）	保険償還価格が、海外の実売価格よりも低いため、医療機器が国内に導入されない（デバイスギャップ）また、国内での開発コストに見合わない償還価格のためにイノベーションがoccurりにくい。	保険に収載する時点で新薬の価格が安価すぎる → 創薬へのインセンティブを阻害
対策	a) イノベーション ・メディカル・ツーリズムの振興 ・ウェルネスリゾートの建設（人間ドックと観光の融合） b) デジタルイノベーション ・病院経営合理化、医療データ基準の統一、海外の病院との連携 c) 人的資本投資 ・外国人医師の招聘 ・トリアージ（適切対応の選別）の出来る人材、救急対応が出来る人材、病院マネジメントの専門家の育成 d) 特有の課題への対応 ・医療業界と旅行業界の連携	a) イノベーション ・モジュール化等を通じた多様なロボットの開発 b) デジタルイノベーション ・介護施設のデジタル化 c) 人的資本投資 ・介護ロボットを使えるデジタルリテラシーを高める教育	a) イノベーション ・民間保険活用による先進医療の欧米同様の扱い等先進的治療機会の市場拡大 b) デジタルイノベーション ・データの有効活用のためのデジタル化、病院間のシステムのデータ活用の互換性確保（1億人強のデータの利活用の促進） ・地域診療情報ネットワークの活性化 c) 人的資本投資 ・治験のためのfirst-in-man（治験者）の円滑な供給	a) イノベーション ・医療ビッグデータと次世代AIを組み合わせることで創薬の超効率化 b) デジタルイノベーション ・治療用アプリの開発 c) 人的資本投資 ・デジタルリテラシー、AIリテラシーを普及 d) 特有の問題への対応 ・価格に見合った値段を付けていく方式の導入（EVのような補助金方式を検討） ・公的保険でカバーする金額を超えた部分での民間保険の代替の検討（一定以下の所得層への補助金の検討）